

第66回ホスピタルコンサート



ご案内

【日時】平成25年8月9日（金） 午後7時～（50分程度）

【場所】当院玄関ロビー（入場無料）

【出演者】

<木越 洋/Yo Kigoshi>

1953年生まれ。桐朋学園高校、桐朋学園大学を経て、1975年桐朋学園大学ディプロマ・コース修了。同年日本音楽コンクール第2位。その後、新日本フィルハーモニー交響楽団の首席奏者を経て、1977年から2年間、文化庁在外芸術研究員としてミュンヘン音楽大学に留学し、ワルター・ノータス氏に師事。1978年ミュンヘン国際音楽コンクール入賞、1979年ジュネーヴ国際音楽コンクール・ディプロマ賞など数々の賞を受賞。1981年帰国し、NHK交響楽団に首席奏者として入団。以降32年間、優れた演奏技術でNHK交響楽団首席チェロ奏者としての重責を果たし、2013年6月20日惜しまれつつ退団。現在、洗足学園、桐朋学園において教鞭をとる傍ら、毎年夏の松本市で行われるサイトウ・キネン・オーケストラ、東京銀座王子ホールでは同じN響コンサートマスター篠崎史紀と共演する“MARO・ワールド”、横浜開港記念館にてのバッハ無伴奏シリーズなど、数々の室内楽コンサートへの参加、リサイタルなど多忙なスケジュールに追われている。東京音楽コンクールにおける弦楽部門の審査員も歴任。最近では、バッハ無伴奏チェロ組曲演奏会を毎年行い、バッハへの深い憧憬と愛情が伝わってくる感動的な演奏は、ますます高い評価を得ている。2008年、「音楽博物館」と題した起立式奏法での室内楽コンサートシリーズを東京文化会館で新たに立ち上げ、業界で注目を浴びている。

現在、洗足学園音楽大学客員教授、桐朋学園大学講師。

<渡部 基一/Kiichi Watanabe>

ヴァイオリンを江藤俊哉氏、同夫人アンジェラ氏に師事。またイギリスにてユルゲン・ヘス氏に師事した。桐朋学園在学中、東京国際室内楽コンクール、第57回日本音楽コンクール入賞。桐朋学園大学在学中、秋山和慶指揮と共演、また第61回読売新人演奏会に出演した。タンブルウッド音楽祭にも招聘された。アメリカ・インディアナ州立大学大学院に留学し、ディプロマを取得。ハイフェッツの愛弟子ユーバル・ヤーロン氏、マウリシオ・フックス氏、室内楽をジョルジュ・シェボック氏らに師事。2003～04年、新日本フィルハーモニー交響楽団客員コンサートマスター、05～06年は東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターに就任。現在、フェリス女学院大学講師、江藤俊哉コンクール審査員、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバーを務めている。CDはJ.フィールドのノクターン集、「渡部基一 plays 石原裕次郎」をリリース。

<永江 泉/Izumi Nagae>

福岡県大牟田市出身。桐朋学園大学音楽学部ピアノ科を卒業。吉村洋子、S r・ジュゼッピーナ、北原洋子、末永博子、北村陽子の各氏にピアノを、三善晃、山根美代子の各氏に室内楽を師事。1986年、西日本新人紹介演奏会にて西日本新聞社賞を受賞。以降、オーケストラ、国内外のアンサンブルのソリストとしての経験を日本で積み、96年よりスイスの仲間と共に、ヨーロッパ全土、カナダ各地にてアンサンブルコンサートに出演。2000年、音楽に於ける文化交流を目的として音楽活動団体“アペルト”を立ち上げる。以降、ソロ・室内楽の演奏活動、室内楽講習会や地元におけるサロンコンサートの企画出演、各地で開催されるピアノコンクールの審査等、幅広い活動を展開しながら後進の指導に当たる。現在、12年間の音楽活動をさらに広い視点で捉え、芸術、音楽文化を地域から発信すべく、特定非営利活動法人アペルトとして認可申請中。